

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理光学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	703
担 当 教 員	岸上 幸代	実務経験とその関連資格	視能訓練士として、眼科一般検査に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
遠点・近点・明視域・調節力の関わりを学び、それぞれの位置・範囲についての考え方を習得します。レンズ装用時の遠点・近点の位置の変化と明視域を求めることができます。また乱視表を用いた乱視矯正の自覚的屈折矯正検査について学び、技術を習得します。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価80% 平常点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第2版 理解を深めよう視力検査屈折検査 プログラムフローチャートですすめる図解眼科検査法						
《授業外における学習方法》						
毎時間の復習をして授業に出席して下さい。小テストと記載している授業では小テストを実施します。						
《履修に当たっての留意点》						
屈折矯正の習熟には時間を要します。しっかりと復習をして臨んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	遠点・近点について説明できる	理解を深めよう視力検査屈折検査	遠点・近点・調節力の復習	
		各コマにおける授業予定	遠点・近点・調節力とは、またそれらの関係			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	明視域の計算ができる	理解を深めよう視力検査屈折検査	明視域の復習	
		各コマにおける授業予定	明視域について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	各それぞれの計算ができる	特になし	配布プリント内容の復習	
		各コマにおける授業予定	小テスト 付加レンズの考え方 遠点・近点・明視域・調節力の復習(練習問題)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	検影法の検査方法を説明できる	視能学第2版 理解を深めよう視力検査屈折検査	検影法の復習	
		各コマにおける授業予定	検影法とは(理論と手技)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	検影法を用いて検査ができる	理解を深めよう視力検査屈折検査	球面レンズの復習	
		各コマにおける授業予定	検影法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	自覚的屈折検査の目的・原則を説明できる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	自覚的屈折検査のフローチャートの復習
		各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(理論・手技)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自覚的屈折検査の流れを説明できる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	乱視・円柱レンズの復習
		各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	雲霧について説明できる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	乱視表のフローチャートの予習
		各コマにおける授業予定	乱視表を用いた屈折矯正検査①(雲霧まで)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	乱視表のフローチャートを述べることができる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	乱視表のフローチャートの復習
		各コマにおける授業予定	乱視表を用いた屈折矯正検査①(最後まで)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	レンズメーターを扱うことができる	プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	前期のレンズメータープリントの復習
		各コマにおける授業予定	小テスト レンズメーターの復習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折矯正検査が教科書を見ながらできる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	検査手技を振り替える
		各コマにおける授業予定	乱視表を用いた屈折矯正検査・レンズメーター・検影法①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折矯正検査が教科書を見ながらできる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	検査手技を振り替える
		各コマにおける授業予定	乱視表を用いた屈折矯正検査・レンズメーター・検影法①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折矯正検査ができる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	検査手技を振り替える
		各コマにおける授業予定	乱視表を用いた屈折矯正検査・レンズメーター・検影法①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折矯正検査ができる	理解を深めよう視力検査屈折検査プログラムフローチャートですめる図解眼科検査法	検査手技を振り替える
		各コマにおける授業予定	乱視表を用いた屈折矯正検査・レンズメーター・検影法①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解できていない部分に気づき、疑問を解消できる	特になし	
		各コマにおける授業予定	総復習		